
2024年度
エコアクション21
環境経営レポート

発行日：2025年 2月 15日
レポートの対象期間：2024年 1月 1日 ～ 12月 31日



中部緑地株式会社

1. 事業活動の概要

1) 事業社名及び代表社名

事業社名 中部緑地株式会社
代表者名 代表取締役 後 秀夫

2) 所在地 〒920-0953

石川県金沢市涌波4丁目13番25号

3) 環境管理責任者の連絡先及び担当者

管理責任者 朝倉 寿一
連絡先 TEL 076-222-2213
FAX 076-223-8619
E-mail chubu-r@po3.nsknet.or.jp
URL <https://chubu-ryokuchi.com>

4) 事業内容

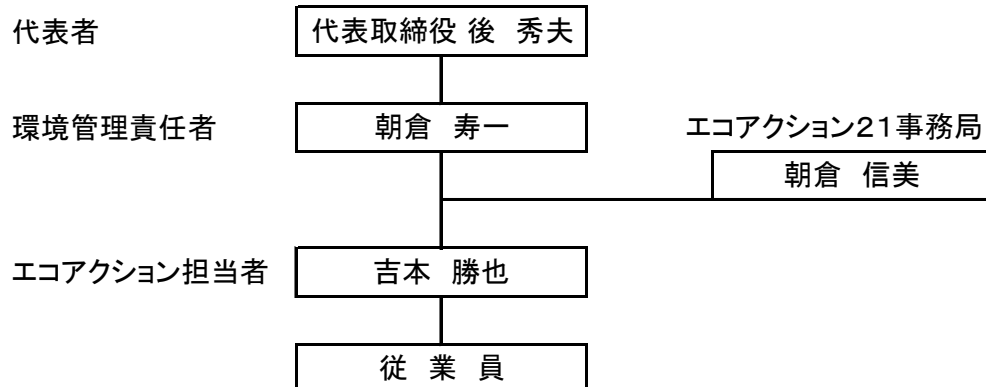
1. 造園工事業
・造園工事に係わる設計、施工、維持管理、除草、草花販売
2. 土木工事業
・土木工事
3. とび、土工、コンクリート工事業
・法面保護工事
4. 産業廃棄物の収集運搬業
5. 解体工事業

5) 事業規模

従業員 16 名
延べ床面積 120.92 m² (本社)

6) 情報公開項目

設立年月 昭和46年 4月 1日 ((1971年4月1日))
資本金 4300万円
組織図



役割・責任・権限

責 任 者	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	・環境方針を策定する ・エコアクション21の実行に必要な資源を用意する ・環境管理責任者を任命する ・エコアクション21全体の取組状況を評価し、見直しを実施し、必要な指示を行う
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する ・環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告する ・環境関連法規の遵守状況をチェックする ・外部からの苦情や要望に対応する ・問題点に対して是正処置及び予防処置を行う
エコアクション21事務局	・環境目標に関するデータを集計し、環境管理責任者に報告する ・廃棄物の秤量を行う ・外部からの苦情や要望を受け付ける ・エコアクション21に関する文書と記録を管理する。
エコアクション担当者	・環境目標に関するデータの確認と従業員への周知を行う ・環境活動計画の実施状況の確認と従業員への周知を行う ・環境管理責任者を補佐する
従 業 員	・環境活動計画の具体的な取組み内容を実行する

ア、許可の内容

NO.	許認可名	許可者	許可番号	許可年月日	有効期限
1	造園工事業	石川県知事	(特- 1)第11611号	R7.2.7	R12.2.6
2	土木工事業	石川県知事	(特- 1)第11611号	R7.2.7	R12.2.6
3	とび・土工工事業	石川県知事	(特- 1)第11611号	R7.2.7	R12.2.6
4	産業廃棄物収集運搬	石川県知事	第01708201433号	H30.6.20	R10.6.19
5	解体工事業	石川県知事	(特- 1)第11611号	R7.2.7	R12.2.6

・廃棄物の種類(収集運搬) 積替え、保管を除く

汚泥(無機汚泥に限る)、廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず

がれき類(水銀含有ばいじん等、自動車等破砕物であるものを除く

これらのうち

特別管理産業廃棄物である石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く

イ、施設の状況

・車両の種類と台数

トラック	4tユニック	造園工事, 維持管理、土木工事、収集・運搬用	1 台
ダンプ	3tエルフ	造園工事, 維持管理、土木工事、収集・運搬用	1 台
塵芥車	プレッシャー車	造園工事, 維持管理、土木工事、収集・運搬用	1 台
トラック	1tトラック	造園工事, 維持管理、土木工事、収集・運搬用	1 台
ダンプ	3tダンプ	造園工事, 維持管理、土木工事、収集・運搬用	1 台
軽トラック	軽トラック	造園工事, 維持管理、土木工事用	2 台
建設機械	油圧ショベル	造園工事、土木工事用	2 台
軽自動車	軽自動車	営業用等	1 台
普通乗用車	普通乗用車	営業用等	2 台

ウ、収集運搬の量(自社排出の産業廃棄物)

(単位:ton)

	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)
産業廃棄物	5.7	6.4	33.5

7) 対象範囲

組織

全組織

活動

造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業

2. 環境経営方針

1. 基本理念

中部緑地株式会社は、日頃の小さな工夫の積み重ねをモットーに、環境保全に取り組むことが地域社会を構成する企業市民としての責務であることを認識し、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることに貢献します。



2. 行動指針

- 1) 事業活動の中での省エネルギーと省資源。(紙使用量の節減・節水)
- 2) 二酸化炭素排出量削減のため省エネルギーの推進。
- 3) 危険物・化学物質の安全な取り扱い。
- 4) 工事部門、事務部門における廃棄物の削減。
- 5) 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底。
- 6) 環境関連法規制の遵守。

この環境経営方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取り組み内容を全員に周知します。同時に環境経営方針は広く社会に周知します。



制定 2019年 1月 1日

改定 2022年 1月 1日

中部緑地株式会社

代表取締役 後 秀夫

3. 環境経営目標

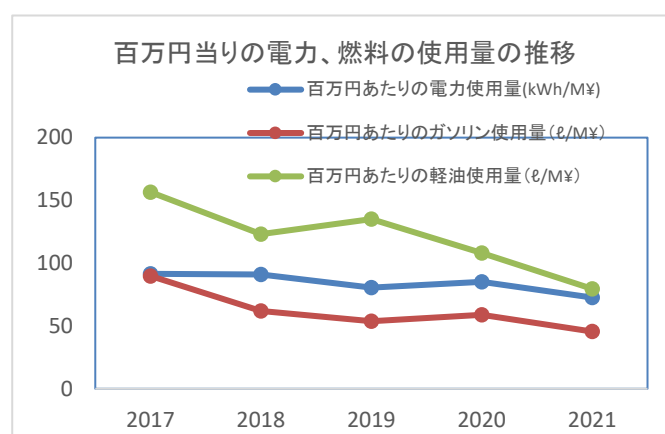
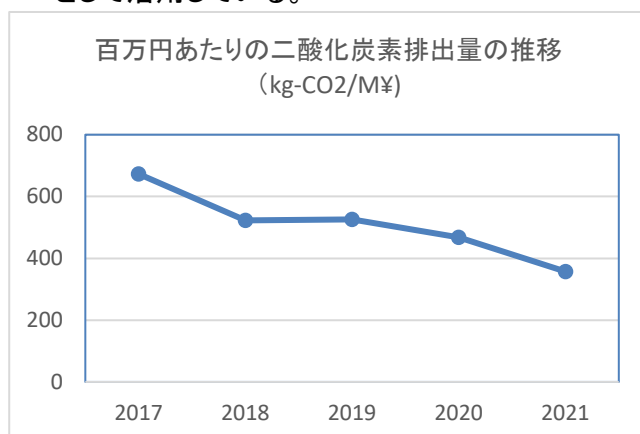
(1) 過去の実績

区分 環境目標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高(業務)	百万	107	105	118	113
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	56,213	49,097	42,159	51,330
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg/M¥)	525	468	357	454
購入電力	(kwh)	8,618	8,931	8,570	9,354
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	4,947	5,126	4,919	5,369
A/売上高	(kg/M¥)	46	49	41.7	47.5
ガソリン	(リットル)	5,766	6,193	5,375	6,341
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	13,403	14,368	12,470	14,711
B/売上高	(kg/M¥)	125	137	106	130
軽油	(リットル)	14,469	11,346	9,387	11,862
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	37,331	29,273	24,218	30,603
C/売上高	(kg/M¥)	349	279	205	271
灯油	(リットル)	214	133	222	260
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	532	330	552	647
D/売上高	(kg/M¥)	4.97	3.14	4.68	5.73
産業廃棄物排出量	(トン)	52	82	12	2
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	100	100
一般廃棄物	(kg)	301	473	(402)	(348)
水使用量	(m ³)	103	113	(231)	(205)
コピー用紙使用量	(枚/年)	15,300	20,550	27,500	27,500
化学物質使用量	(kg)	253.00	190.00	99.41	88.10

※原単位には売上金額のうち、公園や庭園の除草・剪定などの維持管理業務の売上げを使用した。
土木工事やとび工事など売上げの年間変動の大きい工事の売上げは指標として使用することを避けた。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.574kg-CO₂/kWh(北陸電力H28年度)を使用しました。

※産業廃棄物は、処理を委託しており全量中間処理した後、固形燃料用原料等の再生資源として活用している。



3. 環境経営目標

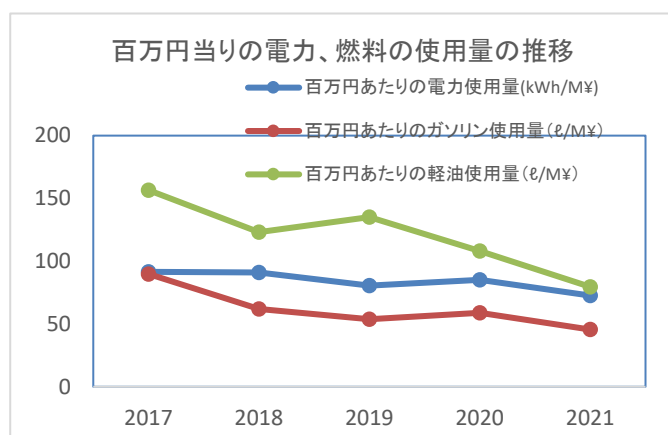
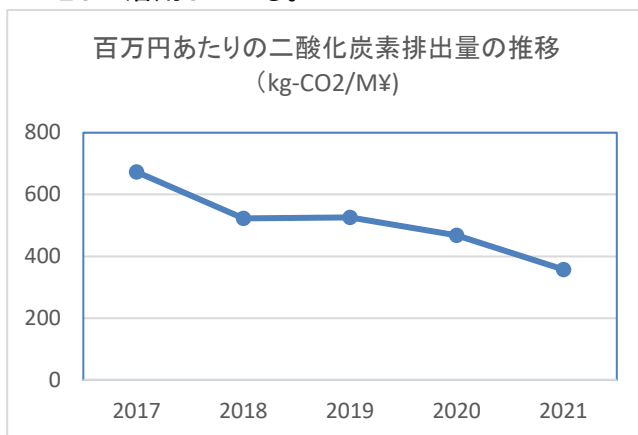
(1) 過去の実績

区分 環境目標	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(業務)	百万	105	118	113	114
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	49,097	42,159	51,330	47,151
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg/M¥)	468	357	454	414
購入電力	(kwh)	8,931	8,570	9,354	9,511
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	5,126	4,919	5,369	5,459
A/売上高	(kg/M¥)	49	41.7	47.5	47.9
ガソリン	(リットル)	6,193	5,375	6,341	6,270
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	14,368	12,470	14,711	14,546
B/売上高	(kg/M¥)	137	106	130	128
軽油	(リットル)	11,346	9,387	11,862	10,444
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	29,273	24,218	30,603	26,944
C/売上高	(kg/M¥)	279	205	271	236
灯油	(リットル)	133	222	260	81
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	330	552	647	201
D/売上高	(kg/M¥)	3.14	4.68	5.73	1.77
産業廃棄物排出量	(トン)	10.6	1.7	5.7	6.4
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	100	100
一般廃棄物	(kg)	402	(348)	(348)	(449)
水使用量	(m ³)	113	(231)	(205)	(155)
コピー用紙使用量	(枚/年)	15,300	27,500	27,500	10,000
化学物質使用量	(kg)	190.00	99.41	88.10	153.40

※原単位には売上金額のうち、公園や庭園の除草・剪定などの維持管理業務の売上げを使用した。
土木工事やとび工事など売上げの年間変動の大きい工事の売上げは指標として使用することを避けた。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.574kg-CO₂/kWh(北陸電力H28年度)を使用しました。

※産業廃棄物は、処理を委託しており全量中間処理した後、固形燃料用原料等の再生資源として活用している。



3. 環境経営目標

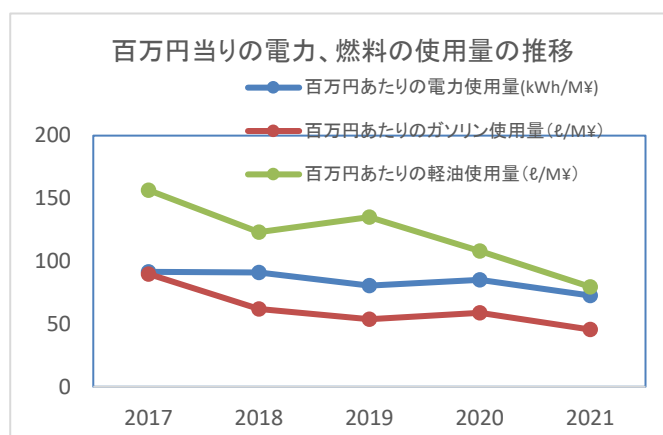
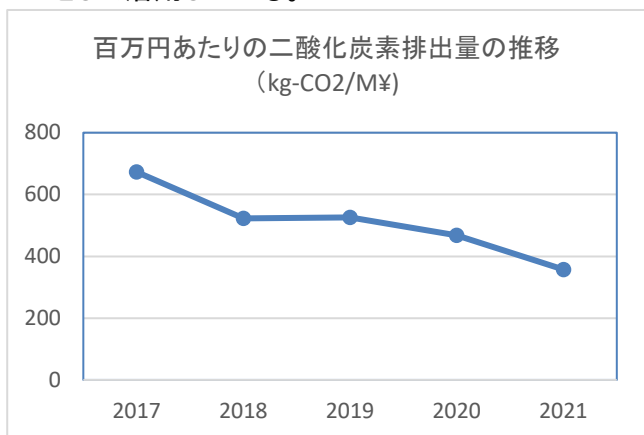
(1) 過去の実績

区分 環境目標	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高(業務)	百万	118	113	114	
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	42,159	51,330	47,151	
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg/M¥)	357	454	414	
購入電力	(kwh)	8,570	9,354	9,511	
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	4,919	5,369	5,459	
A/売上高	(kg/M¥)	41.7	47.5	47.9	
ガソリン	(リットル)	5,375	6,341	6,270	
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	12,470	14,711	14,546	
B/売上高	(kg/M¥)	106	130	128	
軽油	(リットル)	9,387	11,862	10,444	
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	24,218	30,603	26,944	
C/売上高	(kg/M¥)	205	271	236	
灯油	(リットル)	222	260	81	
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	552	647	201	
D/売上高	(kg/M¥)	4.68	5.73	1.77	
産業廃棄物排出量	(トン)	1.7	5.7	6.4	
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	100	
一般廃棄物	(kg)	(348)	(348)	(449)	
水使用量	(m ³)	(231)	(205)	(155)	
コピー用紙使用量	(枚/年)	27,500	27,500	10,000	
化学物質使用量	(kg)	99.41	88.10	153.40	

※原単位には売上金額のうち、公園や庭園の除草・剪定などの維持管理業務の売上げを使用した。
土木工事やとび工事など売上げの年間変動の大きい工事の売上げは指標として使用することを避けた。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.574kg-CO₂/kWh(北陸電力H28年度)を使用しました。

※産業廃棄物は、処理を委託しており全量中間処理した後、固形燃料用原料等の再生資源として活用している。



(2)環境への負荷の削減目標(2021年度までの目標)

2018年度実績を基準として、二酸化炭素排出量/売上高(業務)を年1%減少すること、産業廃棄物排出量は年5%、コピー用紙使用量は年2%削減源することを目標準とする。

売上高(業務)は目標期間中は仮に100(百万円)を維持するとした。

2021年度以降に見直します。

区分 環境目標	単位	基準値	中長期目標		
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売 上 高(業務)	(百万円)	99	100	100	100
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	51,747	51,888	51,369	50,855
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg/M ¥)	524	519	514	509
購 入 電 力	(kWh)	9,019	9,043	8,953	8,864
A: 二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	5,177	5,191	5,139	5,088
A/売上高	(kg/M ¥)	52.4	51.9	51.4	50.9
ガ ソ リ ン	(リットル)	6,126	6,142	6,081	6,020
B: 二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	14,212	14,251	14,108	13,967
B/売上高	(kg/M ¥)	144	143	141	140
軽 油	(リットル)	12,198	12,231	12,109	11,988
C: 二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	31,471	31,557	31,241	30,929
C/売上高	(kg/M ¥)	319	316	312	309
灯 油	(リットル)	356	357	354	350
D: 二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	887	890	881	872
D/売上高	(kg/M ¥)	8.99	8.90	8.81	8.72
産業廃棄物排出量	(トン)	66	63	60	57
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	100	100
一般廃棄物	(kg)	350	削減活動を実施し、排出量を把握する。		
水使用量	(m ³)	170	節水活動の実施し、使用量を把握する。		
コピー用紙使用量	(枚/年)	15,600	15,300	15,000	14,700
化学物質使用量	(kg)	99	適正管理の実施し、使用量を把握する。		

※一般廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量の基準値は2018年度実績値を参考値として記載した。

(3)環境への負荷の削減目標(2022年度からの目標)

2021年度実績を基準として、二酸化炭素排出量/売上高(業務)を年1%減少すること、
産業廃棄物排出量は年3%、コピー用紙使用量は年2%削減源することを目標値とする。
売上高(業務)は目標期間中は仮に110(百万円)を維持するとした。

2024年度以降に見直します。

区分 環境目標	単位	基準値	中長期目標			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
売 上 高(業務)	(百万円)	118	110	110	110	110
二酸化炭素総排出量	(kg－CO ₂)	42,159	38,908	38,519	38,519	38,133
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg/M ¥)	357	354	350	350	347
購 入 電 力	(kWh)	8,570	7,909	7,830	7,830	7,751
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg－CO ₂)	4,919	4,540	4,494	4,494	4,449
A／売上高	(kg/M ¥)	41.7	41.3	40.9	40.9	40.4
ガ ソ リ ン	(リットル)	5,375	4,960	4,911	4,911	4,862
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg－CO ₂)	12,470	11,508	11,393	11,393	11,279
B／売上高	(kg/M ¥)	106	105	104	104	103
軽 油	(リットル)	9,387	8,663	8,576	8,576	8,491
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg－CO ₂)	24,218	22,350	22,127	22,127	21,906
C／売上高	(kg/M ¥)	205	203	201	201	199
灯 油	(リットル)	222	205	203	203	201
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg－CO ₂)	552	509	504	504	499
D／売上高	(kg/M ¥)	4.68	4.63	4.58	4.58	4.54
産業廃棄物排出量	(トン)	12	12	11	11	11
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	100	100	100
一般廃棄物	(kg)	402	削減活動を実施し、排出量を把握する。			
水使用量	(m ³)	231	節水活動の実施し、使用量を把握する。			
コピー用紙使用量	(枚／年)	27,500	26,950	26,411	26,411	25,883
化学物質使用量	(kg)	99	適正管理の実施し、使用量を把握する。			

※一般廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量の基準値は2021年度実績値を参考値として記載した。

※原単位には売上金額のうち、公園や庭園の除草・剪定などの維持管理業務の売上げを使用した。

土木工事やとび工事など売上げの年間変動の大きい工事の売上げは指標として使用することを避けた。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.574kg-CO₂/kWh(北陸電力H28年度)を使用しました。

※産業廃棄物は、処理を委託しており全量中間処理した後、固形燃料用原料等の再生資源として活用している。

4. 環境経営計画

目 標	具体的取組内容		担当部署	担当者
二酸化炭素 排出量の削減	電力 の 削減	人感センサー器具の導入	総務部	後寿美代
		空調温度管理(28℃、20℃)		
		買換時には、省エネタイプの機器を選定する		
		昼休み、未使用室の消灯、パソコンの待機電力活用		
		「節電」ステッカーを貼り節電意識の向上を図る		
	燃料 の 削減	社用車のエコドライブの推進	工事部	野村祥人
		社用車の効率的運行、重機の効率的使用		
		社用車の定期的整備、エコ車検、エンジン洗浄		
		重機の日常点検の徹底		
廃棄物排出量 の削減	産 廃	分別を徹底し、再利用、再生利用に努める。	工事部	新輪正俊
		マニフェスト管理台帳		
	一 廃	一般廃棄物の分別回収	総務部	新輪正俊
		リサイクルの取組		
水使用量の削減	洗車で使用する水を減らす。流しっぱなしの洗浄の禁止。		工事部	谷口愛樹
	トイレ洗浄水の削減。水量調整		総務部	朝倉信美
	節水ステッカーを貼り、意識向上を図る。			
化学物質使用量	適正量の購入と保管管理の徹底		工事部	中村 暢
コピー用紙	裏面使用		総務部	後寿美代
	パソコン利用拡大			
グリーン購入	再生紙、事務用品		総務部	後寿美代
	エコマーク商品の購入			
教育訓練	5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の推進		工事部	吉本克也
	定期的研修会や会議で意識向上を図る		営業部	朝倉寿一
	改善事例の発表			
	環境に関する情報収集		工事部	中村 暢

5. 環境経営目標の実績

区分 環境目標	単位	目標	実績	評価
		2022年度	2022年度	
売上高(業務)	(百万円)	110	113	○目標値達成 2.7%増
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	38,908	51,330	
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg-CO ₂ /M円)	354	454	○目標値未達 28.3%増
購入電力	(kWh)	8,408	9,354	
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	4,826	5,369	
A/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	41.7	47.5	○目標値未達 13.9%増
ガソリン	(リットル)	5,273	6,341	
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	12,234	14,711	
B/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	105	130	○目標値未達 24.0%増
軽油	(リットル)	9,209	11,862	
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	23,760	30,603	
C/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	203	271	○目標値未達 33.4%増
灯油	(リットル)	217	260	
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	542	647	
D/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	4.63	5.73	○目標値未達 23.7%増
産業廃棄物排出量	(トン)	12	2	○目標値達成
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	○処理業者は燃料チップ等100%実施
一般廃棄物排出量	(kg)	402	348	削減活動を実施し、排出量を把握する。
水使用量の削減	(m ³)	231	205	節水活動の実施し、使用量を把握する。
コピー用紙使用量	(枚/年)	26,950	27,500	○目標値達成(値上がりの為暮れに購入)
化学物質使用量	(kg)	99	88	適正管理の実施し、使用量を把握する。

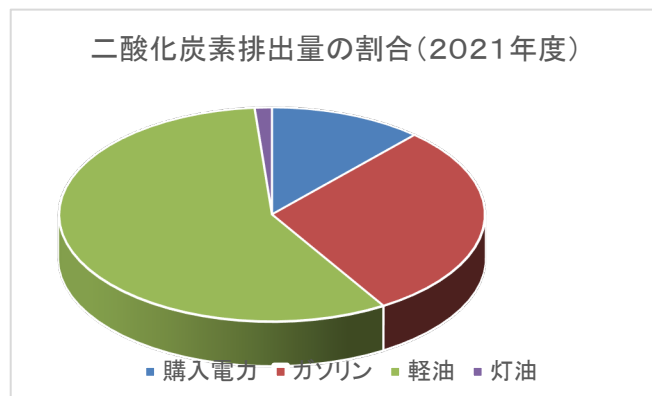
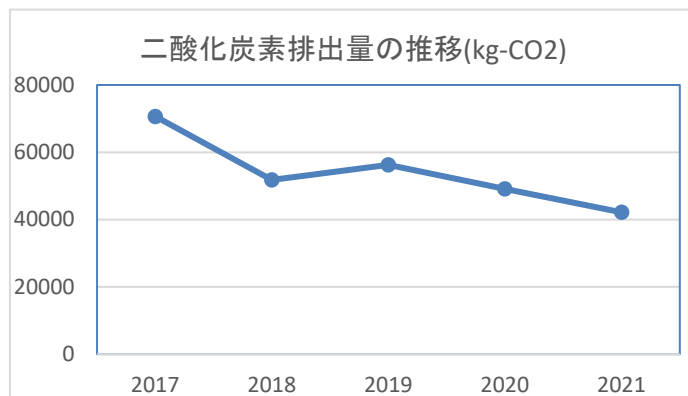
※売上高(業務)の目標値は環境経営目標では仮に110(百万円)であったが、ここでは実績値を採用し、二酸化炭素排出量の目標値も実績値ベースに変更した。

一般廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量の計画値は2022年度実績値を参考値として記載した。

コメント

2021年度はコピー用紙使用量以外の項目について目標を達成しました。

産業廃棄物はすべて処分業者に搬入し、全量再生資源化している。



2022

2022グラフ

5. 環境経営目標の実績

目標3-3を記入

区分 環境目標	単位	目標	実績	評価
		2023年度	2023年度	
売上高(業務)	(百万円)	110	114	○目標値達成 3.6%増
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	38,519	47,150	
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg-CO ₂ /M円)	350	414	○目標値未達 18.2%増
購入電力	(kWh)	7,830	9,511	
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	4,494	5,459	
A/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	40.9	47.9	○目標値未達 17.1%増
ガソリン	(リットル)	4,911	6,270	
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	11,393	14,546	
B/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	104	128	○目標値未達 22.7%増
軽油	(リットル)	8,576	10,444	
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	22,127	26,944	
C/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	201	236	○目標値未達 17.6%増
灯油	(リットル)	203	81	
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	504	201	
D/売上高	(kg-CO ₂ /M円)	4.58	1.76	○目標値未達 61.5%減
産業廃棄物排出量	(トン)	11	6	○目標値達成
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	○処理業者は燃料チップ等100%実施
一般廃棄物排出量	(kg)	402	449	削減活動を実施し、排出量を把握する。
水使用量の削減	(m ³)	231	155	節水活動の実施し、使用量を把握する。
コピー用紙使用量	(枚/年)	26,411	10,000	○目標値達成
化学物質使用量	(kg)	99	153	適正管理の実施し、使用量を把握する。

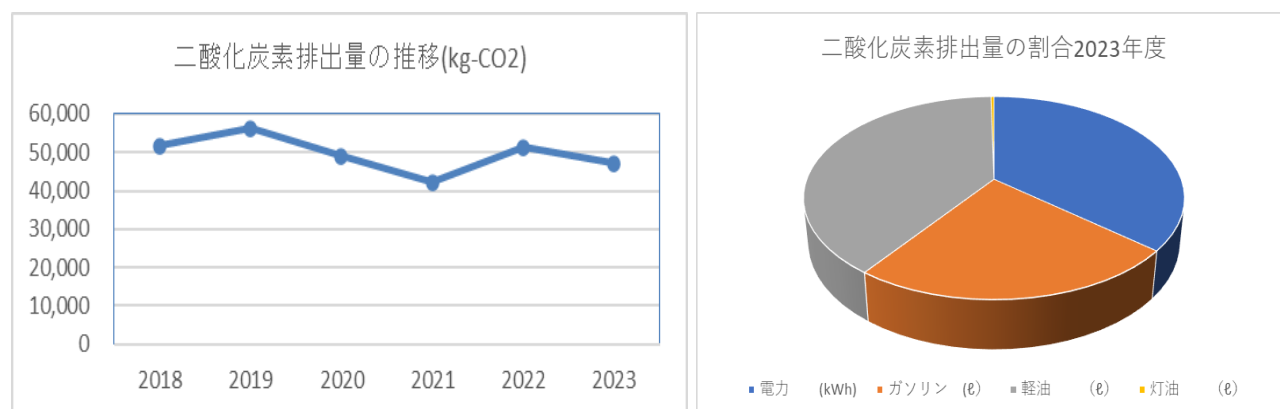
※売上高(業務)の目標値は環境経営目標では仮に110(百万円)であったが、ここでは実績値を採用し、二酸化炭素排出量の目標値も実績値ベースに変更した。

一般廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量の計画値は2022年度実績値を参考値として記載した。

コメント

CO2排出量が、前年度より減少しています。

産業廃棄物はすべて処分業者に搬入し、全量再生資源化している。



5. 環境経営目標の実績

区分 環境目標	単位	目標	実績	評価
		2024年度	2024年度	
売上高(業務)	(百万円)	110	110	○目標値達成
二酸化炭素総排出量	(kg-CO ₂)	40,538	46,752	
二酸化炭素総排出量/百万円	(kg-CO ₂ /M¥)	369	425	○目標値未達 15.2%増
購入電力	(kWh)	8,240	9,331	
A:二酸化炭素排出量(購入電力)	(kg-CO ₂)	4,730	5,356	
A/売上高	(kg-CO ₂ /M¥)	43.0	48.7	○目標値未達 13.3%増
ガソリン	(リットル)	5,168	6,653	
B:二酸化炭素排出量(ガソリン)	(kg-CO ₂)	11,991	15,434	
B/売上高	(kg-CO ₂ /M¥)	109	140	○目標値未達 28.4%増
軽油	(リットル)	9,026	9,864	
C:二酸化炭素排出量(軽油)	(kg-CO ₂)	23,287	25,448	
C/売上高	(kg-CO ₂ /M¥)	212	231	○目標値達生 9.0%減
灯油	(リットル)	213	206	
D:二酸化炭素排出量(灯油)	(kg-CO ₂)	531	514	
D/売上高	(kg-CO ₂ /M¥)	4.83	4.67	○目標値達生 3.3%減
産業廃棄物排出量	(トン)	11	34	○目標値達成
産業廃棄物のリサイクル率	(%)	100	100	○処理業者は燃料チップ等100%実施
一般廃棄物排出量	(kg)	削減活動を実施し、排出量を把握する。		
水使用量の削減	(m ³)	節水活動の実施し、使用量を把握する。		
コピー用紙使用量	(枚/年)	25,883	17,000	○目標値達成
化学物質使用量	(kg)	適正管理の実施し、使用量を把握する。		

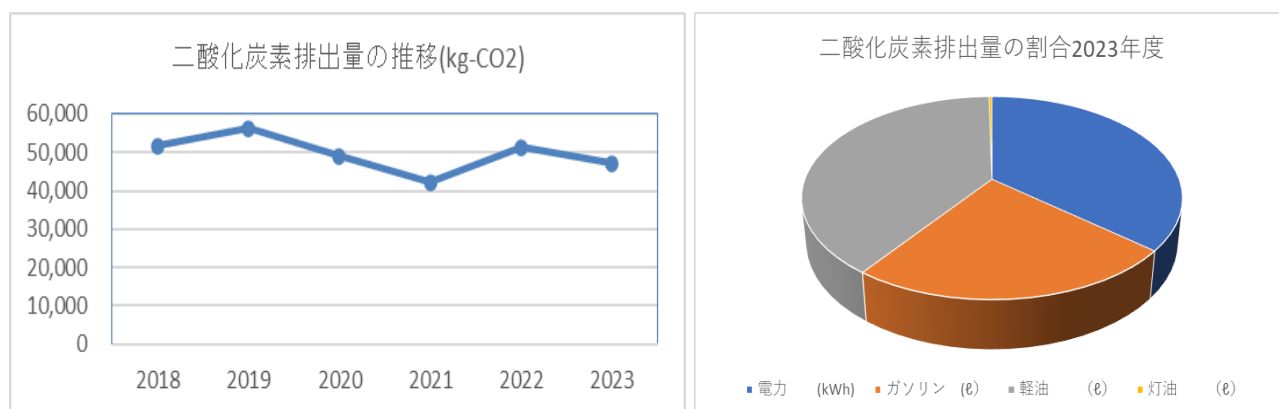
※売上高(業務)の目標値は環境経営目標では仮に110(百万円)であったが、ここでは実績値を採用し、二酸化炭素排出量の目標値も実績値ベースに変更した。

一般廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量の計画値は2022年度実績値を参考値として記載した。

コメント

CO2排出量が、前年度より減少しています。

産業廃棄物はすべて処分業者に搬入し、全量再生資源化している。



6. 環境経営計画の取組結果とその評価および次年度の取組

目 標	具体的取組内容		評 価	
			上半期	下半期
二酸化炭素 排出量の削減	電力の削減	人感センサー器具の導入	○	
		空調温度管理(28℃、20℃)	○	○
		買換時には、省エネタイプの機器を選定する	○	○
		昼休み、未使用室の消灯、パソコンの待機電力活用	○	○
		「節電」ステッカーを貼り節電意識の向上を図る	○	○
	燃料の削減	社用車のエコドライブの推進	○	○
		社用車の効率的運行、重機の効率的使用	○	○
		社用車の定期的整備、エコ車検、エンジン洗浄	○	○
		重機の日常点検の徹底	○	○
廃棄物排出量 の削減	産 廃	分別を徹底し、再利用、再生利用に努める。	○	○
		マニフェスト管理台帳	○	○
	一 廃	一般廃棄物の分別回収	○	○
		リサイクルの取組	○	○
水使用量の削減	洗車で使用する水を減らす。流しっぱなしの洗浄の禁止。		○	○
	トイレ洗浄水の削減。水量調整		○	○
	節水ステッカーを貼り、意識向上を図る。		○	○
化学物質使用量	適正量の購入と保管管理の徹底		○	○
コピー用紙	裏面使用		○	○
	パソコン利用拡大		○	○
グリーン購入	再生紙、事務用品		○	○
	エコマーク商品の購入		○	○
教育訓練	5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の推進		○	○
	定期的研修会や会議で意識向上を図る		○	○
	改善事例の発表		○	
	環境に関する情報収集		○	○

※上半期 ; 2024/1 ~ 2024/6

※下半期 ; 2024/7 ~ 2024/12

※環境経営計画は次年度も継続する。

取り組み結果の評価

- ・事務所の蛍光灯をLED管に取り換えて少なながらも二酸化炭素の軽減出来ている。
- ・まずは、出来ること、節水の呼びかけや表示により社員の意識が向上してきています

是正及び予防処置

- ・社員教育訓練の中で工事増により、社外のエコ講習会等に参加出来なかったので参加を促します。
- ・改善事例をコンスタントに発表出来るようにしたい。

7. 環境関連法規制の遵守状況

7-1. 環境関連法規等の遵守状況

法規名	順守事項	当社の順守内容	チェック日	
廃掃法	1. 収集運搬許可	廃棄物の種類、有効期限	6/28	12/20
	2. 運搬車、運搬容器、飛散、流出 対策		6/28	12/20
	3. 車両の表示(産廃収集運搬車、許可番号)		6/28	12/20
	4. マニフェストと許可証の携帯		6/28	12/20
	5. 契約の提携(契約書)		6/28	12/20
	6. マニフェスト管理(帳簿記載義務)		6/28	12/20
	7. 管理表に関する報告書の提出 (県及び市)	前年4/1から3/31までの1年分(第18条第1項)	6/28	12/20
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象工事(80㎡以上の解体等)は	国の目標: 2010年最資源化率95%	-	-
	1. 分別(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト、コンクリート)	当社目標: 年率95%増を目標とする(分別、処理フロー、マニフェストで量管理)	-	-
	再資源化を行う義務がある		6/28	12/20
	2. 請負物件に関する届出義務	工事届出書	6/28	12/20
	3. 解体工事業の届出許可	許可書(番号、有効期限、契約書等)	6/28	12/20
		技術管理者、標識の掲示	-	-
騒音規制法	1. 指定区域の確認	工事現場の指定区域の確認	-	-
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村長へ	-	-
	3. 基準の順守	指定区域では基準を超えない事	-	-
振動規制法	1. 指定区域の確認	工事現場の指定区域の確認	-	-
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村長へ	-	-
	3. 基準の順守	指定区域では基準を超えない事	-	-
道路運送車両法	1. 車両の管理	走行距離の報告	-	-
	2. 車両の整備	3ヶ月点検・整備又は1年点検・整備	4/10	11./1
フロン排出抑制法	1. 定期的自主点検	3ヶ月点検又は1年点検	4/10	10/9
	2. フロン類の回収	許可事業者への引き渡し	-	-
毒物劇物取締法	1. 毒物・劇物の表示 2. 使用量の管理	現在は使用していない。使用した時は表示・使用量管理をおこなう。	-	-
PRTR法	1. 使用量の把握、 2. 排出量・移動量の届出	対象事業所ではない。 使用量を把握する。	-	-

7-2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

過去3年間、環境関連法規の違反はなく、訴訟等についてもありませんでした。

また、行政からの指導、近隣からの苦情等もありませんでした。

随時見直しを行い、法規等の厳守に努めます。

8. 代表者の見直し

エコアクション21に取り組むことにより、データを見ると、弊社のエネルギーのCO2の排出量が目に見えるようになりました。

国においても2050年までにCO2排出量 0 を目標として発表しています。

弊社も目標達成に向けて環境保全活動の取組を社員全員に周知して今後更に取り組んでいきます。

代表者による全体の評価と見直し記録		承認	確認	作成
見直し実施者	見直し実施日			
	2025/2/14			
見直しのための情報				確認
①環境関連法規の遵守状況				○
②環境目標の達成状況および環境活動計画の実施状況、その評価結果				○
③問題点の是正処置及び予防処置の結果				○
④外部からの苦情等の受付結果				○
エコアクション21全体の取り組み状況の評価				
システムの有効性 (EMSが機能しているか)		○適	不適	
取り組み状況の適切性 (要求事項を満たしているか)		○適	不適	
変更の必要性の判断				
環境方針		有	○なし	
環境目標		有	○なし	
環境活動計画	担当者の交代	有	○なし	
環境経営システム		有	○なし	
具体的な見直しの指示内容				
環境への負荷の状況 (取りまとめ表)からCO2排出量が、99.15%で前年度より減少しています。				
業務売上を基準にしてますが、工事売上の増減にて排出量に変化が表れています。				
2024年は、能登地震など災害の多い年でしたので樹木伐採等の依頼が有り				
産業廃棄物の量も増えました。				
2025年もその傾向が有りますが、今までどうりに環境意識の向上を指示します。				
前回の見直し結果における指示内容への対応状況				
引き続き全社員の環境に対する意識の高揚継続を指示します。				